

日本語母語話者が初めて書いた作文を 英語に翻訳することについて

*Translating into English Japanese Compositions Written
by a Japanese First Grader*

李 春 喜
Haruki Lee

By classifying Japanese sentences into eight categories, this paper discusses the problems of Japanese to English translation. By way of illustration, Japanese compositions written by a Japanese first-grader are used. The eight categories into which the sentences are classified are as follows: 1. sentences structured into “there is” or “there are”; 2. sentences that indicate the writer’s observations; 3. sentences that describe the writer’s actions; 4. sentences that express the writer’s feelings; 5. sentences that describe the writer’s state and intentions; 6. sentences that describe events; 7. statements of generalization; and 8; other. The short analyses of each category shed light on the difficulties of translating Japanese into English and, at the same time, provide us with useful insights which can be used when translating Japanese into English.

キーワード

小学一年生 (the first grader)、母語 (the first language)、作文 (compositions)、
日英翻訳 (Japanese-English translation)

1. はじめに

巻末に付した添付資料1の文番号1～113は、大阪府内の公立小学校に通うある一年生が書いた作文の全文である。オリジナルはほとんどがひらがなだったが、読みやすさを考慮して、著者が適宜漢字を使用し句読点を加えるなど調整してある。添付資料2の1’～113’は添付資料1の文番号1～113を英語に翻訳したものである。文番号は、日本語一文毎に付してあるので、日本語と英語とでは文の総数は一致しないが、日本語では一文になっている文が、英訳では二文以上から構成されていても、英訳の方は一文として番号を付してある。逆に、日本語では二文で表現されたものが、英訳では一文として処理され、二つの文番号にまたがっていることも

ある。なお、英語への翻訳は、もとの日本文をまず筆者が英訳し、その英文を英語のネイティブ・スピーカー¹が添削するという手順で進めた。

本稿は、日本語を母語とする小学生が書いた日本語による初めての作文をもとに、言語化された事柄を8つのカテゴリーに分類し、日本語から英語の翻訳について考察したものである。言語化された事柄の8つのカテゴリーとは以下の1～8である。

1. 「～がある」「～がいる」またはその変異形で表される存在文
2. 外界の事物や出来事を観察し、認知・判断したことを表した文
3. 書き手の動作・行為を記述した文
4. 書き手の感情や気持ちを表した文
5. 書き手の状態を記述した文
6. 出来事について記述した文
7. 一般論を記述した文
8. 上記の1～7のどれにも分類されないか、あるいは、複数のカテゴリーを含んだ文

言うまでもなく、この分類は小学一年生が初めて母語で書いた作文をもとにしているため、これらのカテゴリーが日本語で表記されるすべての文を分類するものではない。本稿は、日本語で表現される文の精密な分類を目指すというよりは、日本語を母語とする者が、日本語から英語への翻訳を考える際の実際的な参照枠を提示することを目的としている。

カテゴリー1の「存在文」は、文字どおり「～がある」「～がいる」という日本語で表される事柄を対象にした。カテゴリー2の「外界の事物や出来事を観察し、認知・判断したことを表した文」は、基本的には、「A is B」つまり「～は…である」という「be動詞」を使った言明(statement)と考えていただければいいと思う。カテゴリー3の「動作・行為を記述した文」は一般動詞のうち、動作や行為を表す動詞の使い方念頭においている。カテゴリー4の「感情や気持ちを表した文」は、文字どおり、書き手の感情・心情が表現されたものである。カテゴリー5の「書き手の状態」は、感情・心情以外の状態、たとえば、「～ができる」「～をしなければならない」などのように、動詞の modality (助動詞表現) に焦点をあてている。カテゴリー6の「出来事」は、書き手自身の動作・行為ではなく、書き手が存在する環境において発生した出来事のことである。たとえば、「雷がなる」のように自動詞的な出来事もあれば、「友だちが石を投げる」という他動詞的な出来事もある。カテゴリー7の「一般論」は、「三角形の内角の和は180度である」、「光は音より速い」といった自然科学的な事実や、「私は毎朝コーヒーを飲む」、「学校には自転車で通学している」といった習慣について述べた文である。カテゴリー8には、上記の1～7に当てはまらないか、文の構成上、一つの文の中に複数のカテゴリーが混在しているものを集めた。

II. 「～がある」「～がいる」またはその変異形で表される存在文

以下 13、21、23、26、27、56、81、82、103 の九つの日本文はすべて「～がある」または「～がいる」の変異形である。以下に、その原文とそれを英語に訳したものを併記する。

13. 3時間目に防犯教室がありました。
13'. We had a crime prevention drill in third period.
21. 中に魚がいました。
21'. I saw fish in the water.
23. 岩の下にはちっちゃなカニがいたよ。
23'. I saw tiny crabs under some rocks.
26. 大水槽の中には3匹のジンベイザメがいました。
26'. We saw a huge aquarium with 3 big whale sharks.
27. 2匹のマンタもいました。
27'. There were also two manta rays.
56. 中にはぞう虫がいました。
56'. There was a little worm inside.
81. 「おひさまルーム」でクリスマス・パーティーがありました。
81'. We had a Christmas Party at the Sunshine Room.
82. お菓子もありました。
82'. There were sweets.
103. 1年生になって、楽しい事が一杯ありました。
103'. Being a first-grader was very fun.

上の例から分かるように、九つの存在文に対応する英文で “There is/are ~” の構文を使っているのは、27、56、82 の三文だけである。残りの六文のうち、13、81 は “have” を使って、21、23、26 は “saw” を使って、残る一つの 103 は 「A is B」 の構文を日本語の 「～がある」 に対応させている。

日本語の場合、「～がある」という存在文は、

- 1) ある空間に何かが存在する場合
- 2) ある空間である出来事が起こる場合
- 3) ある時間帯に何らかの出来事が起こる場合
- 4) 長い時間的幅の中でさまざまな出来事が起こる場合
- 5) 何かに対して人が感情や意見を持つ場合

のように、必ずしも、ある場所に「モノ」が存在している場合（例えば、There are two chairs in my room）だけに用いられるわけではない。当然、「～がある」という意味だからといって、

それに対応する英文がすべて“*There is/are ~*”という構文になるわけではない。例文103'のように、“*Being a first-grader was very fun*”という「主語 + *be* 動詞」の構文でも、場合によっては、日本語の「～がある」という意味に対応する。

III. 書き手が外界の事物や出来事を観察し、認知・判断した文

以下1、3、4、5、8、22、24、25、28、29、31、34、45、46、52、54、55、57、60、65、69、84、88、90、102、107、109、111の二十八の日本語はすべて書き手が外界の事物や出来事を観察し、認知・判断したことを表した文である。「書き手が外界の事物や出来事を観察し、認知・判断したことを表した文」というのは、単純化すると「AはBである」つまり「*A is B*」という構文で表現できるということである。しかし、3、4、5、8、22、25、28、29、31、46、55、60、65、84、102、107、109、111の十八の文は確かに“*A is/are/was/were B*”という「主語 + *be* 動詞」という構文で表現されているが、1、34、69は“*have/had*”が使われており、45、52、54、57、90では*be* 動詞も“*have*”も使われていない。

1. キリンの首は長いです。
1'. *The giraffe has a long neck.*
3. 種は黒い。
3'. *The seed is black.*
4. さつまいもの茎は黄緑、葉っぱは緑。
4'. *The potato stalk is yellow-green and its leaves are green.*
5. 芽は初め真ん中が小さかった。でも今は真ん中が大きいです。
5'. *At the beginning, the center of the bud was very small but now the center is big.*
8. 真ん中は深かった。端っこは浅かった！
8'. *The center was so deep while the other parts were very shallow!*
22. とってもかわいかったよ。
22'. *They were so cute.*
24. あとプールも行ったけどめっちゃくちゃ冷たかった。
24'. *Later, we went to a swimming pool.*
28. クラゲが暗いところで光っていました。
28'. *Some jellyfish were in a dark place and they were glowing.*
29. ものすごくきれいかったです。
29'. *They were so beautiful.*
31. ヒトデはちょっぴり固かったです。
31'. *The starfish were a little hard.*

34. 運動会の練習で、リレーの線に合わせて真っ直ぐ走るのが難しいです。
34'. During this practice, I had a hard time staying in my lane while running.
45. 校歌がすごかった。
45'. They sang our school song so well.
46. 手に2本ずつ持ってマリмбаを叩いているところがすごかった。
46'. Everyone had two sticks and played the marimba. It was so nice.
52. 特に、端っこに一杯落ちていました。
52'. I found most of them on the ends of the playground.
54. 匂いはしませんでした。
54'. I smelled them but I couldn't smell anything.
55. どんぐりの中は黄色でした。
55'. The inside of the acorn was yellow.
57. 音はしませんでした。
57'. It didn't make any sound.
60. もちろん、お弁当は美味しかったです。
60'. As usual, the boxed lunch was yummy.
65. おいも美味しかったです。
65'. They were so tasty.
69. 触るとツルツル、匂いは甘かったです。
69'. When I touched them, they were smooth. They had a sweet smell.
84. チョコレートがのってて美味しかったです。
84'. There was chocolate on top of the cake.
88. 楽しいパーティーになりました。
88'. It was such a fun party!
90. ゴム跳びは、どんどん上がって行って、跳ぶのが難しかったです。
90'. They held the rubber cord higher and higher and it got harder and harder to jump over it.
102. 私は「千二マラソン」の練習が本番「千二マラソン」とします。
102'. For me, my hard practice was the Sen-Ni marathon.
107. 今は、「逃走中」が流行っています。
107'. Toso-chu is so popular now.
109. これはおいもパーティーの絵です。
109'. This is a potato party drawing.
111. とても美味しく楽しいおいもパーティーでした。
111'. The potato was yummy and the party was fun.

つまり、日本語が「～は…です」という構文だからといって、それらすべてが「主語 + be 動詞」(A is B) の構文で表現されるわけではない。むしろ、「きりんの首は長いです」は、“The neck of the giraffe is long”よりも “The giraffe has a long neck”の方がはるかに自然な英語であるし、「校歌がすごかった」は、直訳して“The school song was great”などにすると、明らかな誤訳である。ここでは書き手は、校歌を歌っている人たちを観察して、そのパフォーマンスが「すごかった」と認知・判断しているのだから、“They sang our school song so well”と「主語 + 一般動詞」という構文で日本語の「～は…です」に対応させることができる。「～は…です」という構文を持つ日本語は、be 動詞以外の動詞を使って表現する可能性を考えることで、誤訳を避け、より自然な英語になることがある。

IV. 書き手の動作・行為を記述した文

以下14、17、19、51、58、64、66、71、72、73、74、75、76、78、79、83、85、86、89、96、98、99、101、106、110、112の二十六の日本語は、書き手自身の動作・行為を記述した文である。これらの例文は、書き手が自らの動作や行為を「作文」という学校の課題の中で語っているので、すべてが単純過去形である。文脈によっては英語の現在完了形・過去完了形を使った方が適切なケースもあるかもしれないが、小学1年生では、たとえ母語であっても動詞の時制とアスペクトの使い分けは難しいと判断し、英訳はすべて単純過去形にしてある。また、「書き手の動作・行為を記述した文」というカテゴリーにしてあるが、厳密には「動作」というよりは「状態」と表現する方が正確な内容もあるかもしれない(例えば99の「一週間休みました」)。しかしここでは、主として「一人称の主語 (Weを含む) + 一般動詞」という形の構文を集めた。

14. いろいろな事を教わったよ。

14'. I learned some new things.

17. 昨日、1年生みんなプールに入ったよ。

17'. Yesterday, all the first-graders swam in the pool.

19. 一日目、パパとママと孝ちゃんと一緒に海に入ったよ。

19'. The first day, Papa, Mama and Ko-chan went to the beach.

51'. 10月23日、私は、給食室の後ろで、どんぐりを見つけました。

51'. On October 23rd, behind the lunch preparation room, I found some acorns.

58'. 学校から歩いて、電車に乗って、「山田」で降りて、またモノレールに乗って、降りて、次に、公園で遊びました。

58'. We walked from school to the train station and took the train. We got off at Yamada Station and then took the monorail. We got off at Banpaku Koen Station. We had a nice time at the park.

- 64'. ミルちゃんと私とカホちゃんと、食べました。
64'. I ate the sweet potatoes with Miru-chan and Kaho-chan.
66'. ママに1個おみやげに持ってかえりました。
66'. I brought one home as a gift to my mom.
71. 初めに、図工室に行ってコロコロローラーをしました。
71'. At first, we went to the art room and used a roller.
72'. 次に茶紙をクシャクシャのボールみたいにして、拡げて、手でゆっくりちぎりました。
72'. Then, we crumpled up brown paper into a ball shape. We un-crumpled it and slowly tore it many times with our hands.
73. それから絵を描いて、マイネームで縁取りして、絵に色を塗りました。
73'. We then drew pictures. We used a marker and highlighted the lines. We then colored it in.
74. 次はコンテの粉を定規で絵にかけました。
74'. We spread the colored powder on the picture with a ruler.
75. それからティッシュでコンテの粉をこすりました。
75'. We then used tissues to rub the powder on the paper.
76. 最後にボンドで綿をつけました。
76'. Finally, we glued on cotton on it.
78'. 「リスごっこ」でどんぐりを拾いました。
78'. We played "squirrels" and picked up acorns.
79. 「リスごっこ」でどんぐりは、食べ物にしました。
79'. As we played, we "ate" them.
83. ケーキを食べました。
83'. I ate cake.
85. 他のお菓子も食べました。
85'. I ate some other snacks, too.
86. その後ゲームをして、歌も唄いました。
86'. After that, we played games and sang songs, too.
89. 私はゴム跳びと、あや取りと、お手玉をしました。
89'. We played "gomutobi," cat's cradle, and beanbags.
96. 私はインフルエンザBで「千二マラソン」に出られなかったけど「千二マラソン」の練習で頑張りました。
96'. I practiced very hard for this marathon but I got the flu and couldn't join it.
98. だけど頑張りました。
98'. But I tried my best.

99. 私はインフルエンザBで1週間休みました。
99'. I got the flu and stayed home for a week.
101. でも練習は頑張りました。
101'. But I did practice hard.
106. かほちゃんと休み時間は、「リスごっこ」、折り紙、絵、色々な事をしました。
106'. During recess, Kaho-chan and I played “squirrels,” did origami, drew pictures and other stuff, too.
110. 私はかほちゃんと食べました。
110'. I ate potatoes with Kaho-chan.
112. ママにも1枚取っというてあげました。
112'. I saved one for my mom.

ここで挙げた例文はほとんど一人称単数もしくは一人称複数を主語にした構文であるが、文の主語が二人称・三人称になった場合、文の主語と書き手の意志が分裂する。

V. 書き手の感情・心情を表現した文

以下2、7、9、10、11、12、18、36、40、44、47、48、50、59、62、63、70、77、80、93、108の二十一の日本語はすべて書き手自身の感情・心情を表現した文である。

2. すごく長くてびっくりしました。
2'. I'm surprised how long the giraffe's neck is.
7. お友だちとできて嬉しかった。
7'. I was happy to play with my friends in the pool.
9. 音楽会でお客さんが一杯で緊張したけど楽しかった。
9'. I was nervous because there were so many people at the festival, but I had a very nice time.
10. 私の声は小さかったのにみんなの声は大きかったからちょっぴり悔しかった。
10'. My voice was so small while my friends' voices were so loud and I had to try so hard to be heard.
11. 楽しかった。
11'. I had a nice time.
12. 前は、つるに葉っぱしかなかったのに、今は蕾ができて嬉しい。
12'. At first, the stems just had leaves, but now I'm happy because there are buds sprouting.
18. 自由時間に、花組の先生に泳ぎが上手って誉めてもらって嬉しかったよ。
18'. Later we had free time to swim as we like. During this time, I swam hard and the “hana”

class teacher said I swam well. I was so happy.

36. だから運動会の練習は楽しいです。

36'. So, I enjoyed this practice.

40. ものすごく嬉しかったよ。

40'. I was so happy.

44. 入らなくても練習は楽しいです。

44'. Even though I missed them, I still enjoyed practice.

47. 初めの方は、あんまりなかったけどあとから4個も見つけて嬉しかったです。

47'. At first, it was hard to find them but later we were able to find four!

48. 「マルモリダンス」で上手に踊れて嬉しかったよ。とっても楽しかったよ。

48'. I was so happy because I could do the Marumori dance so well!

50. でも「何でもバスケット」は楽しかったです。

50'. But "Nandemobasket" was fun.

59. 公園は楽しかったです。

59'. We enjoyed it very much.

62. 私は、弟が笑っているのを見るとこっちも楽しいなと思いました。

62'. Seeing his smile made me happy, too.

63. おいもパーティー楽しかったです。

63'. I enjoyed the party with sweet potatoes.

70. どんな色のチューリップが咲くのか楽しみです。

70'. I'm excited to see what color the tulip flower will be.

77. ぜんぶ楽しかったです。

77'. Everything was so fun.

80. 集めるのは大変だったけど楽しかったです。

80'. It was hard to hold so many of them, but it was fun.

93. 全部とても楽しかったです。

93'. Everything was so fun.

108. 本当に楽しい事が増えて嬉しいです。

108'. I'm happy because there were so many more new fun things in first-grade.

小学1年生が書いた作文なので、感情を表現する言葉としては、「びっくり」「嬉しい」「楽しい」「悔しい」の四つしか出てこないが、國弘正雄編著『感情表現小和英』（たちばな出版）などを用いて感情表現を表す語彙を代入すれば、感情や心情を表現する文はいくらでも書くことができる。ただし、10は「悔しかった」となっているが、日本語の「悔しい」を和英辞典などを使ってもびったりくる表現が見つからなかったため、10'のように「悔しい」という気持ち

が間接的に読みとれるであろう表現になっている。これは言語の本質的な問題と関わるので、今後、慎重に調べてみたい。

VI. 書き手自身の状態を記述した文

以下 30、35、41、42、43、91、92、94、95 の九つの日本語はすべて「書き手自身の状態」を記述した文である。「書き手自身の状態」と記したが、先にも述べたとおり、このカテゴリーには、書き手の感情や心情を表す文は含まれていない。「感情や心情を表す文」は別に項目を立てた。ここには、「～ができる」「～ができない」という書き手の能力についての「状態」しか挙げられていないが、「書き手自身の状態」とは、should、must、may といった助動詞等で表現される文と考えていただければよい。

30. ヒトデやナマコにはさわれました。
- 30'. Later I could touch starfish and sea slugs.
35. でも頑張っていたら少し慣れてきました。
- 35'. It was hard, but after a while, I got the hang of it.
41. 「玉入れ」の練習で、なかなか玉が入りません。
- 41'. At "Tamaire" practice, I couldn't get many balls in the basket.
42. でも盆踊りの場所へ急いで行くことができます。
- 42'. But I was able to go "Bon-odori" quickly.
43. 玉入れでも5個は入るけど、ほとんど入りません。
- 43'. Even though I made five baskets, I missed most of them.
91. あや取りはマジックができるようになりました。
- 91'. I can do cat's cradle so well that it seems like magic.
92. お手玉は投げて受け取ることができました。
- 92'. I can now juggle the beanbags without dropping them.
94. 私は、幼稚園の頃から折り紙でバラを折れます。
- 94'. Since kindergarten, I can make origami roses.
95. 1年生になってから本物のようなチューリップが作れるようになりました。
- 95'. From the first grade, I can also make very real-looking origami tulips.

35の「慣れてきました」や43の「5個は入るけど」は「～ができる」という表現にはなっていないが、潜在的には「～ができるようになる」という意味なので、このカテゴリーに含めた。

VII. 出来事について記述した文

以下 32、37、39、61、67、68、105、113 の八つの日本文はすべて出来事について記述した文である。出来事には「何かが起こる」という自動詞的出来事と、「誰かが何かをする」という他動詞的出来事があるが、ここには、書き手が何かをする以外の出来事を集めた。

32. 孝ちゃんも触っていました。

32'. Ko-chan touched them too.

37. 初めての体操教室で、跳び箱が上手って言ってもらったよ。

37'. In my first class at gymnastics school, my instructor told me I was good at the vaulting box.

39. 鉄棒のときも逆上がりが上手って言ってもらったよ。

39'. I did a nice backward flip and the teacher said it was very good.

61. 弟に絵本を読んであげたら、弟が笑ってくれた。

61'. I read him a picture book. This made him smile at me.

67. ママが食べてくれました。

67'. She ate it.

68. 美味しい！て言ってくれました。

68'. She said it was good.

105. 最初にお友だちになったのは、高津かほちゃんでした。

105'. My first elementary school friend was Kaho Takatsu.

113. とても美味しいって言ってくれました。

113'. She said it was so yummy.

出来事を言語化する行為は、実は、物語を語るためには欠かせない能力である。「何かが起こる」「誰かが何かをする」「自分が何かをする」といった出来事を時系列に並べるだけでその言説は物語になる。つまり人は、自分が体験した出来事を言語化し、それを時系列に並べることができるようになった段階で、物語を語る（書く）能力を身につけたと考えることができる。

VIII. 一般論を記述した文

以下 15 と 16 の二文は一般論を記述した文である。一般論とは、「水は 100 度で沸騰する」「光は音よりも早い」「三角形の内角の和は 180 度である」「彼は毎朝コーヒーを飲む」といったように、時間・場所・発話者によって、その真偽判断が左右されないような言説である。英語の場合、これらの言説は現在時制で表現される。今回得られた 113 の日本文のうち、一般論を記述した文は二つしか見当たらなかったが、それは、小学校の一年生が言語で表現できることは

個人的な体験にもとづくことが多く、たとえ母語であっても、そこから何か一般的なことを抽象化するのは難しいからだと思われる。

15. 車に乗らない。
- 15'. We shouldn't get into a car with strangers.
16. 知らない人としゃべるときは離れてしゃべる。
- 16'. If a stranger talks to us, we shouldn't get too close.

IX. その他

以下6、38、49、104、の四つの日本語は、上記の1～7のどれにも分類されないか、あるいは、複数のカテゴリーを含んだ文である。

6. 楽しくって、嬉しくって、冷たかったけど、
- 6'. The pool was fun and I was excited but the water was so cold.
38. 嬉しくって、跳び箱の後の鉄棒も頑張ったら、
- 38'. I was happy and after that, I did my best at the horizontal bar.
49. 遠足は行けなかったし、雨は降るし、ビデオも観れなかったし、1日中嫌なことばかりでした。
- 49'. The rain ruined everything. First, my field trip was cancelled and I couldn't watch a video at home. Nothing went my way all day.
104. 春の遠足、おいもパーティー、プール、音楽鑑賞会。
- 104'. We had the Spring field trip, the potato party, swimming and the music festival.

6は、「プールは楽しい」「自分が嬉しい」「水は冷たい」のように、「書き手の感情・気持ち」と「外界についての認知判断」が混在している。38は、「書き手の感情・気持ち」と「書き手の動作・行為」が混ざっている。49は、「出来事・外界の観察」「書き手自身の状態」「書き手自身の感情・気持ち」が混在している。104は、名詞を列挙しただけで文にはなっていないが、それに対応する英文を“*We have ...*”とすることで、「遠足に行く」、「パーティーがあった」、「プールに入る」、「音楽鑑賞会があった」という異なるカテゴリーに含まれる複数の文を一文でまとめた。

X. まとめ

最後に、日本語の作文とそれに対応する英文を作ってみて、気がついたことを四点指摘しておきたい。

1) 主語の省略について

よく指摘されているように(『日本語と日本語論』 p.264)、日本語における主語は省略される方が自然である。日本語で書かれた作文を一読すれば明らかのように、小学一年生が書く文では、ほとんどの文に主語がない。英語では、命令文等よほどのことがない限り主語を省略しないことを考えると、日本語話者が英語で文章を書くときは、主語を何にするか慎重に考えなければならない。

2) 語彙について

日本語を読んですぐに気がつくとおり、もとの日本語には、蕾、茎、チューリップ、どんぐり、カニ、ジンベイザメ、マンタ、クラゲ、ヒトデ、ナマコ、ぞう虫など、子どもたちが日常生活の中で頻繁に接する自然に関する語彙や、「リスごっこ」「ゴム跳び」「あやとり」「お手玉」といった遊びに関する語彙が使用されているが、学校教育における英語の授業では、受験に必要な語彙を中心に学習指導が行われるため、母語で身につけてきた「ふつう」の日常語彙に対応する英語を知らないまま学校教育を終えてしまう。そのため、実際に英語でコミュニケーションをとろうとすると、母語なら小学生でも表現できる平易な内容が英語では表現できないという事態が多発する。母語であれば小学生レベルで多用する平易な語彙こそが、現実のコミュニケーションでは必要となる。

3) 関係代名詞について

小学校一年生くらいだと、母語の日本語でも、英語の関係代名詞を使った構文に相当するような文は十分書けないということが分かる。巻末に付けた添付資料1を参照していただければすぐにお分かりいただけるとおり、英語の関係代名詞に相当するような構文はほとんど見当たらない。

言語を習得する場合、語彙の問題はいわば量的な問題だと考えられるが、関係代名詞を使わずに文を書く段階と、関係代名詞を使って文を書く段階との間には、言語習得の発達という観点から質的な変化がある。池上嘉彦は『「する」と「なる」の言語学』において、“Do you know of the millions in Asia that are suffering from protein deficiency because they get nothing but vegetables to eat?” という英文に対応する日本語として、「手ニ入イル食物ト言エバ野菜バカリノタメ、蛋白質不足デ苦シンデイルアジアノ何千人トイウ人タチヲ知ッテイマスカ」よりも、「アジアノ何千人トイウ人タチガ手ニ入イル食物ト言エバ野菜バカリノタメ、蛋白質不足デ苦シンデイルコトヲ知ッテイマスカ」の方が、日本語の表現としては自然だと指摘し、このことが、「なぜ日本語では関係代名詞が発達しなかったかという問いに対して答えの手がかりを与えてくれる」(『「する」と「なる」の言語学』 p.259) と述べている。池上が指摘するように、英語の関係代名詞の習得に日本語話者がたごずるのは、年齢による言語習得の発達段階の問題という

よりも、日本語という言語の構造的な問題だと思われる。

4) 話法について

今回の資料には「～が…と言った」のように、話法が問題になるような文は、37、39、68、113の四つしか見当たらなかった。それらはすべて「出来事を記述した文」に分類してある。「誰かが誰かに何かを言う」というのはある種の出来事だからである。以下にその四つを再度引用する。

37. 初めての体操教室で、跳び箱が上手って言ってもらったよ。

37'. In my first class at gymnastics school, my instructor told me I was good at the vaulting box.

39. 鉄棒のときも逆上がりが上手って言ってもらったよ。

39'. I did a nice backward flip and the teacher said it was very good.

68. 美味しい！と言ってくれました。

68'. She said it was good!

113. とても美味しいって言ってくれました。

113'. She said it was so yummy.

一読して分かるように、これら四つの文の日本語には「って」もしくは「て」という格助詞が使われており、引用符のない直接話法とみなすことができる。それに対して英訳は、37'と39'が間接話法、68'と113'は自由間接話法と考えることができる。英語の自由間接話法を日本語に翻訳する場合の問題点については、伊原紀子が『翻訳と話法』で詳しく論じているが、翻訳における話法の問題も引き続き考えていきたいと思う。

少し話はそれるが、成瀬由紀雄が「実務翻訳から学ぶ和文英訳のコツ」で指摘しているように、「吾輩は猫である」「私は猫でございます」「俺は猫だ」「拙者は猫でござる」「おいらは猫だ」など、すべて「I am a cat」と訳さざるを得ないことを考えると、日本語の「～してもらったよ」という雰囲気を英語に翻訳するのは困難だった。

XI. 最後に

本稿では、小学一年生が母語で初めて書いた作文を英語にしてみることによって、日本語を英語に翻訳するときに参考にできることがないかを考えてみた。文が表現する内容にもとづいて、もとの日本語文を8つのカテゴリーに分類し、それぞれについて日本語と英語を併記した。そこから日本語から英語への翻訳について何らかの知見が得ることができれば、本稿の最初の目的は達成される。

今後は、今回の資料を提供してくれた小学生が二年生になったときの作文をもとに、母語に

日本語母語話者が初めて書いた作文を英語に翻訳することについて（李）

おける表現にどのような変化が見られ、それを英語で表記した場合、日本語から英語への翻訳についてどのような知見が得られるのか検証してみたい。

注

1. 筆者の英文をより自然な英文にするために、友人の Gregory Zonnis 氏に大変お世話になった。

引証文献

池上嘉彦（1981）『「する」と「なる」の言語学』大修館書店

池上嘉彦（2007）『日本語と日本語論』筑摩書房

伊原紀子（2011）『翻訳と話法 語りの声を聞く』松籟社

成瀬由紀雄（2014）「実務翻訳から学ぶ和文英訳のコツ」（島山雄二編）『ことばの仕組みから学ぶ和文英訳のコツ』開拓社

添付資料1

イベント番号	イベント名	文番号	内 容
(1)	春の遠足：天王寺動物園	1	きりんの首は長いです。
		2	すごく長くてびっくりしました。
(2)	朝顔の種：さつまいも	3	種は黒い。
		4	さつまいもの茎は黄緑、葉っぱは緑。
(3)	芽が出た	5	芽は初め真ん中が小さかった。でも今は真ん中が大きいです。
(4)	楽しいワクワクプール	6	楽しくって、嬉しくって、冷たかったけど、
		7	お友だちとできて嬉しかった。
		8	真ん中は深かった。端っことは浅かった！
(5)	音楽会	9	音楽会でお客さんが一杯で緊張したけど楽しかった。
		10	私の声は小さかったのにみんなの声は大きかったからちょっぴり悔しかったけど
		11	楽しかった。
(6)	朝顔の観察へ行こう	12	前は、つるに葉っぱしかなかったのに、今は蕾ができて嬉しい。
(7)	防犯教室	13	3時間目に防犯教室がありました。
		14	いろいろな事を教わったよ。
		15	車に乗らない。
		16	知らない人としゃべるときは離れてしゃべる。
(8)	ワクワクプール	17	昨日、1年生みんなプールに入ったよ。
		18	自由時間に、花組の先生に泳ぎが上手って誉めてもらって嬉しかったよ。
(9)	こんな事があったよ (夏休み)	19	一日目、パパとママと孝ちゃんと一緒に海に入ったよ。
		20	水しぶきを上げたら虹が出たよ。
		21	中に魚がいました。
		22	とってもかわいかったよ。
		23	岩の下にはちっちゃなカニがいたよ。
		24	あとプールも行ったけどめっちゃくちゃ冷たかった。
		25	けどすごく楽しかったよ。
(10)	こんな事があったよ (夏休み)	26	今日、大水槽の中には3匹のジンベイザメがいました。
		27	2匹のマンタもいました。
		28	クラゲが暗いところで光っていました。
		29	ものすごくきれいかったです。
		30	ヒトデやナマコには触れました。
		31	ヒトデはちょっぴり固かったです。
		32	孝ちゃんも触っていました。
		33	あ、ここは美ら海水族館です。
(11)	運動会の練習	34	運動会の練習で、リレーの線に合わせて真っ直ぐ走るのが難しいです。
		35	でも頑張っていたら少し慣れてきました。
		36	だから運動会の練習は楽しいです。

日本語母語話者が初めて書いた作文を英語に翻訳することについて (李)

イベント番号	イベント名	文番号	内 容
(12)	初めての事	37	初めての体操教室で、跳び箱が上手って言ってもらったよ。
		38	嬉しくて、跳び箱の後の鉄棒も頑張ったら
		39	鉄棒のときも逆上がりが上手って言ってもらったよ。
		40	ものすごく嬉しかったよ。
(13)	今頑張ってる事	41	「玉入れ」の練習で、なかなか玉が入りません。
		42	でも盆踊りの場所へ急いで行くことができます。
		43	玉入れでも5個は入るけど、ほとんど入りません。
		44	入らなくても練習は楽しいです。
(14)	音楽鑑賞会	45	校歌がすごかった。
		46	手に2本ずつ持ってマリンバを叩いているところがすごかった。
(15)	おいも掘りをしたよ	47	初めの方は、あんまりなかったけどあとから4個も見つけて嬉しかったです。
(16)	運動会	48	「マルモリダンス」で上手に踊れて嬉しかったよ。とっても楽しかったよ。
(17)	残念な事	49	遠足は行けなかったし、雨は降るし、ビデオも観れなかったし、1日中嫌なことばかりでした。
		50	でも「何でもバスケット」は楽しかったです。
(18)	どんぐりを見つけた	51	10月23日、私は、給食室の後ろで、どんぐりを見つけました。
		52	特に、端っこに一杯落ちていました。
		53	触ってみると、「帽子」はざらざらして、実はつるつるしていました。
		54	匂いはしませんでした。
		55	どんぐりの中は黄色でした。
		56	中にはぞう虫がいました。
(19)	万博公園：秋の遠足	57	音はしませんでした。
		58	学校から歩いて、電車に乗って、「山田」で降りて、またモノレールに乗って、降りて、次に、公園で遊びました。
		59	公園は楽しかったです。
(20)	弟が喜んでた	60	もちろん、お弁当は美味しかったです。
		61	弟に絵本を読んであげたら、弟が笑ってくれた。
(21)	おいもパーティー	62	私は、弟が笑っているのを見るとこっちも楽しいなと思いました。
		63	おいもパーティー楽しかったです。
		64	ミルちゃんと私とカホちゃんと、食べました。
		65	おいも美味しかったです。
		66	ママに1個おみやげに持ってかえりました。
		67	ママが食べてくれました。
(22)	チューリップの球根	68	美味しい！て言ってくれました。
		69	触るとツルツル、匂いは甘かったです。
		70	どんな色のチューリップが咲くのか楽しみです。

イベント番号	イベント名	文番号	内 容
(23)	大冒険の国の絵ができるまで	71	初めに、図工室に行ってコロコロローラーをしました。
		72	次に茶紙をクシャクシャのボールみたいにして、拡げて、手でゆっくりにちぎりました。
		73	それから絵を描いて、マイネームで縁取りして、絵に色を塗りました。
		74	次はコンテの粉を定規で絵にかけました。
		75	それからティッシュでコンテの粉をこすりました。
		76	最後にボンドで綿をつけました。
		77	ぜんぶ楽しかったです。
(24)	どんぐり拾い	78	「リスごっこ」でどんぐりを拾いました。
		79	「リスごっこ」でどんぐりは、食べ物にしました。
		80	集めるのは大変だったけど楽しかったです。
(25)	クリスマス・パーティー	81	「おひさまルーム」でクリスマスパーティーがありました。
		82	お菓子もありました。
		83	ケーキを食べました。
		84	チョコレートがのってて美味しかったです。
		85	他のお菓子も食べました。
		86	その後ゲームをして、歌も唄いました。
		87	サンタさんにプレゼントをもらいました。
		88	楽しいパーティーになりました。
(26)	昔遊び	89	私はゴム跳びと、あやとりと、お手玉をしました。
		90	ゴム跳びは、どんどん上がって行って、跳ぶのが難しかったです。
		91	あや取りはマジックができるようになりました。
		92	お手玉は投げて受け取ることができました。
		93	全部とても楽しかったです。
(27)	折り紙	94	私は、幼稚園の頃から折り紙でバラを折れます。
		95	1年生になってから本物のようなチューリップが作れるようになりました。
(28)	千二マラソン	96	私はインフルエンザBで「千二マラソン」に出られなかったけど「千二マラソン」の練習で頑張りました。
		97	「千二マラソン」の練習で一番しんどかったのは、一番外側の線を走るときでした。
		98	だけど頑張りました。
		99	私はインフルエンザBで1週間休みました。
		100	そのせいで「千二マラソン」に出られなくなりました。
		101	でも練習は頑張りました。
		102	私は「千二マラソン」の練習が本番「千二マラソン」とします。
(29)	楽しかったね。 1年生	103	1年生になって、楽しい事が一杯ありました。
		104	春の遠足、おいもパーティー、プール、音楽鑑賞会。
		105	最初にお友だちになったのは、高津かほちゃんでした。
		106	かほちゃんと休み時間は、「リスごっこ」、折り紙、絵、色々な事をしました。

日本語母語話者が初めて書いた作文を英語に翻訳することについて (李)

イベント 番号	イベント名	文番号	内 容
(30)	楽しかったよ	107	今は、「逃走中」が流行っています。
		108	本当に楽しい事が増えて嬉しいです。
		109	これはおいもパーティーの絵です。
		110	私はかほちゃんと食べました。
		111	とても美味しく楽しいおいもパーティーでした。
		112	ママにも1枚取っというてあげました。
		113	とても美味しいって言ってくれました。

添付資料 2

No.	Titles	No.	Contents
(1)	Spring Field Trip: The Tennoji Zoo	1'	The giraffe has a long neck.
		2'	I'm surprised how long its neck is!
(2)	The Morning Glory Seed	3'	The seed is black.
		4'	The potato stalk is yellow-green and its leaves are green.
(3)	The Bud Has Sprouted	5'	At the beginning, the center of the bud was very small but now the center is big.
(4)	The Very Fun Pool	6'	The pool was fun and I was excited but the water was so cold.
		7'	I was happy to play with my friends in the pool.
		8'	The center was so deep while the other parts were very shallow!
(5)	Music Festival	9'	I was nervous because there were so many people at the festival but I had a very nice time.
		10'	My voice was so small while my friends' voices were so loud and I had to try so hard to be heard.
		11'	I had a nice time.
(6)	Let's Go and See the Morning Glories	12'	At first, the stems just had leaves but now I'm happy because there are buds sprouting.
(7)	Crime Prevention Drill	13'	We had a crime prevention drill in third period.
		14'	I learned some new things:
		15'	We shouldn't get into a car with strangers;
		16'	If a stranger talks to us, we shouldn't get too close.
(8)	The Fun Pool	17'	Yesterday, all the first-graders swam in the pool.
		18'	Later we had free time to swim as we like. During this time, I swam hard and the 'hana' class teacher said I swam well. I was so happy.
(9)	Summer Vacation (1)	19'	The first day, Papa, Mama and Ko-chan went to the beach.
		20'	When I splashed the water up, I saw a rainbow.
		21'	I saw fish in the water.
		22'	They were so cute.
		23'	I saw tiny fish under some rocks.
		24'	Later, we went to a swimming pool. The water was so cold
25'	but it was so fun!		

(10)	Summer Vacation (2)	26'	We saw a huge aquarium with 3 big whale sharks.
		27'	There were also two manta rays.
		28'	Some jellyfish were in a dark place and they were glowing.
		29'	They were so beautiful.
		30'	Later I could touch starfish and sea slugs.
		31'	The starfish were a little hard.
		32'	Ko-chan touched them too.
		33'	Oh! I forgot to say that we did these things at the Churaumi Aquarium.
(11)	Practice for the Sports Festival	34'	During this practice, I had a hard time staying in my lane while running.
		35'	It was hard, but after a while, I got the hang of it.
		36'	So, I enjoyed this practice.
(12)	My First Experience	37'	In my first class at gymnastics school, my instructor told me I was good at the vaulting box.
		38'	I was happy and after that, I did my best at the horizontal bar.
		39'	I did a nice backward flip and the teacher said it was very good.
		40'	I was so happy.
(13)	I'm Doing My Best at These Things	41'	At 'Tamaire' practice, I couldn't get many balls in the basket.
		42'	But I was able to go "Bon-odori" quickly.
		43'	Even though I made five baskets, I missed most of them.
		44'	Even though I missed them, I still enjoyed practice.
(14)	The Music Appreciation Concert	45'	They sang our school song so well.
		46'	Everyone had two sticks and played the marimba. It was so nice.
(15)	We Dug Up Sweet Potatoes	47'	At first, it was hard to find them but later we were able to find four!
(16)	Sports Festival	48'	I was so happy because I could do the Marumori dance so well!
(17)	This Was Too Bad ...	49'	The rain ruined everything. First, my field trip was cancelled and I couldn't watch a video at home. Nothing went my way all day.
		50'	But 'Nandemobasket' was fun.
(18)	I Found Some Acorns	51'	On October 23rd, behind the lunch preparation room, I found some acorns.
		52'	I found most of them on the ends of the playground.
		53'	When I touched them, the acorn "caps" were rough but the rest was smooth and slippery.
		54'	I smelled them but I couldn't smell anything.
		55'	The inside of the acorn was yellow.
		56'	There was a little worm.
		57'	It didn't make any sound.
(19)	Autumn Field Trip: Bampaku Expo Park	58'	We walked from school to the train station and took the train. We got off at Yamada Station and then took the Monorail. We got off at Banpaku Koen Station. We had a nice time at the park.
		59'	We enjoyed it very much.
		60'	As usual, the boxed lunch was yummy.

日本語母語話者が初めて書いた作文を英語に翻訳することについて (李)

(20)	My Brother Was Happy	61'	I read him a picture book. This made him smile at me.
		62'	Seeing his smile made me happy, too.
(21)	"Oimo" Party	63'	I enjoyed the party with sweet potatoes.
		64'	I ate them with Miru-chan and Kaho-chan.
		65'	They were so tasty.
		66'	I brought one home as a gift to my mom.
		67'	She ate it.
		68'	She said it was good.
(22)	Tulip Bulbs	69'	When I touched them, they were smooth. They had a sweet smell.
		70'	I'm excited to see what color the tulip flower will be.
(23)	Drawing:"The Country of the Great Adventure"	71'	At first, we went to the art room and used a roller.
		72'	Then, we crumpled up brown paper into a ball shape. We uncrumpled it and slowly tore it many times with our hands.
		73'	We then drew pictures. We used a marker and highlighted the lines. We then colored it in.
		74'	We spread the colored powder on the picture with a ruler.
		75'	We then used tissues to rub the powder on the paper.
		76'	Finally, we glued on cotton on it.
		77'	Everything was so fun.
(24)	Picking Up Acorns	78'	We played "Squirrels" and picked up acorns.
		79'	As we played, we "ate" them.
		80'	It was hard to hold so many of them but it was fun.
(25)	Christmas Party	81'	We had a Christmas Party at the Sunshine Room.
		82'	There were sweets
		83'	and I ate cake.
		84'	There was chocolate on top of the cake.
		85'	I ate some other snacks, too.
		86'	After that, we played games and sang songs, too.
		87'	Then, I got a present from Santa!
		88'	It was such a fun party!
(26)	Traditional Japanese	89'	We played "gomutobi," cat's cradle, and beanbags.
		90'	They held the rubber cord higher and higher and it got harder and harder to jump over it.
		91'	I can do cat's cradle so well that it seems like magic.
		92'	I can now juggle the beanbags without dropping them.
		93'	Everything was so fun.
(27)	Origami	94'	Since kindergarten, I can make origami roses.
		95'	From the first grade, I can also make very real-looking origami tulips.

(28)	Sen-Ni Marathon	96'	I practiced very hard for tis marathon but I got the flu and couldn't join it.
		97'	The hardest part of the practice was that I had to run in the outside lane
		98'	but I tried my best.
		99'	I got the flu and stayed home for a week
		100'	so I couldn't go to marathon practice and the race.
		101'	But I did practice hard.
		102'	For me, my hard practice was the Sen-Ni marathon.
(29)	The First Grade was Fun	103'	Being a first-grader was very fun.
		104'	We had the Spring field trip, the potato party, swimming and the music festival.
		105'	My first elementary school friend was Kaho Takatsu.
		106'	During recess, Kaho-chan and I played squirrels, did origami, drew pictures and other stuff, too.
		107'	Toso-chu is so popular now.
		108'	I'm happy because there were so many more new fun things in first-grade.
(30)	It was Fun	109'	This is a potato prty drawing.
		110'	I ate with Kaho-chan.
		111'	The potato was yummy and the party was fun.
		112'	I saved for one for my mom.
		113'	She said it was so yummy.